

広田市長公約の取組状況

【本評価の考え方】公約の進捗状況(進み具合)を第12次倉吉市総合計画の事業評価及び市民意識調査の結果を含め3段階で評価しています。

【3段階評価の考え方】

- ◎…公約に掲げた項目の実現、成果も出ている
- …公約に掲げた項目の取組を一部実施・着手している
- △…公約に掲げた項目の実現に向け検討している

I 重点的に取り組む4つの政策(マニフェスト)

1 地域資源を活かした、産業振興のまちづくり

重点政策	主な取組実績	自己評価
○産業基盤の強化と観光産業の振興 ○AIの活用等による農林水産業の振興 ○テレワーク等働き方改革の推進	・にぎわいのある商店街づくり店舗改修 7件 ・企業立地促進(規模拡大) 2社 新規雇用11人 ・地元企業の周知や人材獲得の支援 (株)リクルートと連携した採用力向上セミナー 12社 市内高校1年生をメインターゲットにした企業説明会(商工会議所連携) 参加2校270人 就職を機とした移住者への奨学金返還支援 3人 企業パンフレット作成(デジタルブック) 90社 ・コロナ禍の事業継続支援 経営者福高対策事業(電気・ガス料金高騰支援) 954件 経営者福高対策事業(省エネ対策) 154件 経営者福高対策事業(事業再構築) 94件 経営者チャレンジアップ支援事業 15件 ・経済環境の変化への対応と生産性の向上 国県事業活用に向けた事業計画支援 116件(商工会議所実績) ・国民保養温泉地にふさわしい関金温泉の振興 旧グリーンスコーレせきがね再生事業の推進(工事着工) 旧国鉄倉吉線廃線跡観光客受入環境整備(観光案内所の設置等) ・農村の魅力を引き出す農家民泊の推進 体験型教育旅行誘致協議会 教育旅行等誘致予約 10件(1,001人)	○
	・鳥取型低コストハウス ハウス整備43棟 ・多様な担い手の育成と確保 担い手規模拡大促進事業 75経営体 農業次世代人材投資資金 6名 ・スマート農業 4名 ・林業の担い手の確保・育成 森林整備担い手育成対策 3経営体	
	・ひとを育て、まちを育てる、くらしよし倉吉推進事業 デジタル教育事業 参加者数 基礎編30名、応用編7名、実践編3名	

2 子育てがしやすく、健康で豊かな生涯元気なまちづくり

重点政策	主な取組実績	評価
○子育て環境の充実 ○健康で豊かな長寿社会の実現 ○障がい者の自立支援 ○男女共同参画社会の推進	・ファミリーサポートセンター事業22件 ・乳児家庭全戸訪問事業 224件 ・放課後児童クラブ運営 18児童クラブ ・保育所・認定こども園運営 24園(保育所18園、認定こども園6園)	○
	・地域包括支援事業 5地域包括支援センター 相談数 20,249件 ・いきいきサロン 97か所 ・なごろう会 277回(13地区×2回/月×12月) 登録者 184名 ・各地区介護予防教室 5地域包括支援センターと地域が協力して開催 190回 ・認知症のひとと家族の会の集い 倉吉会場 12回(毎月第2水曜) 60名 関金会場 4回(4,7,10,1月第4水曜) 37名	
	・障害者雇用促進法に規定する法定雇用率を上回る雇用を達成 R6.6.1現在 2.83%(倉吉市役所)	
	・男女がともに活躍できる環境づくり 男女共同参画啓発講演会 参加者160人 女性人材登録制度 新規登録者数2人 倉吉スマイルプロジェクト推進事業補助金交付 2事業	

3 災害に強く、快適で安全・安心なまちづくり

重点政策	主な取組実績	評価
○地域防災力の向上 ○交通安全、防犯対策等の推進 ○地球温暖化対策の推進	・防災士資格取得者 6名(公設消防団5人+地域1人+市職員1人) ・自主防災組織防災資機材整備費補助金 46団体 ・まるごとまちごとハザードマップ整備への補助 4か所 ・消防・防災施設などの整備 小型動力消防ポンプ更新 8台(公設消防団3台・自衛消防団5台) 避難所マンホールトイレ実施設計 5箇所 防災行政無線の更新	○
	・交通安全運動期間中の広報の実施 街頭啓発、防災行政無線を使用した啓発を実施した。 ・防犯に関する広報の実施 防災行政無線を使用した振り込み詐欺等の犯罪に関する啓発を実施した。	
	・令和5年10月に倉吉市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を改定し、二酸化炭素排出量の2030年度(令和12年度)の削減目標を基準年度2013年度(平成25年度)比で40%削減から政府実行計画と同じ50%削減に引き上げた。 ・同計画の実現に向けて取り組み内容を拡充し、市有施設への「太陽光発電設備等の設置」・「再生可能エネルギーの利用(電力調達)」、公用車への「EV等の導入」、ごみの減量・リサイクルの推進のための「4R運動」を追加した。	

4 未来を拓く人を育てる、文化、芸術が輝くまちづくり

重点政策	主な取組実績	評価
○県立美術館と連携した各種地域資源の活用 ○古い街並みや伝統文化とポップカルチャー等新たな魅力との融合	・鳥取県立美術館開館機運醸成創出支援事業 県立美術館の開館に向け、市民の機運醸成を図る取組を支援。 13団体 ・ひとを育て、まちを育てる、くらしよし倉吉推進事業 中核人材育成事業 参加者数 73名 倉吉の魅力発見・データ整備事業 参加者数 86名、倉吉本発行 1万部 バーチャル倉吉事業 来訪者数 6,237PV ・史跡大御堂廃寺跡整備事業 様々な人々が多様な利活用ができる史跡として、県立美術館と一体化した共有空間として、段階的に整備を進めている。	○
	・子どもたちが郷土を愛する心や豊かな人間性を育む、「わたしたちの倉吉」「くらしし風土記」を活用したふるさと学習を実施。 ・文化財を紹介するパンフレット「倉吉文化財さんぽ」を用いて、倉吉に愛着と誇りを感じられる取り組みの実施。 ・文化活動センターの事業及び文化芸術活動団体等への支援と協働を通じて、芸術文化の鑑賞及び発表機会の充実と伝統文化の継承を図った。 ・特別展 前田寛治大賞展(倉吉会場入館者数・3,402人)	

II 市政運営の基本的な姿勢

基本的な姿勢	主な取組実績	評価
対話と現場主義の徹底	若い世代等と市長との直接対話の機会として、元気な倉吉づくり「市長と“はなし”しょいや」を実施。地元大学生、移住者、市役所若手職員等対象として、5回開催した。	○
基本的な姿勢	主な取組実績	評価
行財政改革による財政の健全化	・実質公債費比率では令和4年度決算の8.1%に対し、令和5年度決算では7.7%に減少した。 ・将来負担比率でも令和4年度決算の44.0%に対し、令和5年度決算では42.4%に低下した。 ・令和5年度決算の実質赤字比率および連結実質赤字比率は黒字を維持しており、健全化判断比率を下回っている。	◎
基本的な姿勢	主な取組実績	評価
市役所の活性化とサービスの向上	・住民の利便性の向上、自治体業務の効率化を目的として、DX推進計画を策定した。 ・市公式ホームページを刷新し、機能を拡張(読み上げ、翻訳充実、FAQなど)した。 ・市公式LINEをリニューアルし、機能を拡張(拡張メニュー・ゴミ収集日通知・ゴミ種別チャット機能など)した。 ・元気な倉吉づくり「市長と“はなし”しょいや」として、市役所若手職員との意見交換を実施した。	○